

憲法を生かす京都の会☆通信



No. 49 2024年12月15日

京都市東山区今熊野南日吉町17

FAX: 075-531-3856

E-mail: komai123@kfa.biglobe.ne.jp

憲法を生かす京都の会・学習会のご案内

米軍 X バンドレーダー基地と 祝園弾薬庫増設問題について

弾道ミサイルを探知・追尾する X バンドレーダーを配備した米軍経ヶ岬通信所が 2014年12月に京都府京丹後市丹後町で稼働を始めて12月26日で10年になります。基地「受け入れ」の際、中山泰市長は「住民の安全と安心の確保が大前提」と繰り返し表明しましたが、現実には発電機の騒音問題一つとってみても解決していません。

一方、京都府南部の祝園分屯地では弾薬庫8棟の増設が計画されています。これについては「反撃能力やミサイル弾薬の保管場所のために、祝園に陸自だけでなく海自の弾薬も保管できるように方針を固めた」「海自との共同使用で、南西諸島や九州だけでなく、本州でも有事に備えた補給拠点が整備される」と報道されました。明らかに、自衛隊の形が大きく変わっています。そして、この祝園弾薬庫は住宅や研究施設から近いところにあるため、有事でここが攻撃目標にされたり地震で爆発すれば、奈良県の一部や大阪府の一部も含む大きな被害が出ます。

Xバンドレーダー基地と祝園弾薬庫は日本の戦争国家化の一環なのです。学習会ではパワーポイントを用いてXバンドレーダー基地問題と祝園弾薬庫増設問題について解説します。

学習会

■ 日時：12月20日（金） 午後6時30分より 午後8時45分くらいまで

■ 場所：ウイングス京都 会議室2（会議室1の隣です）

* 正面入口が工事中の場合は北側入口からお入りください)

(京都市中京区四条烏丸東洞院上る 四条烏丸から徒歩10分)

■ 参加費：300円

■ 講師：駒井高之（憲法を生かす京都の会 事務局長）

■ 演題：「米軍 X バンドレーダー基地と祝園弾薬庫増設問題について」

■ 問い合わせ：090-1890-2104 駒井まで

どうして祝園に弾薬庫ができたのでしょうか？

1939年3月1日 枚方禁野(きんや)弾薬庫の大爆発

現在の枚方市禁野本町にあった陸軍の弾薬庫で、日中戦争中の追撃砲弾の解体作業中に大爆発が起きました。爆発による火災は二日後まで続き、爆風や弾薬飛散が半径2Kmlにも及ぶ大惨事となり、死者94名、負傷者602名、全半壊家屋821戸、被災は4,425世帯にも拡大しました。



禁野火薬庫の爆発で家屋が倒壊した枚方町の様子



避難する人々

1941年4月 祝園分屯地の開設

この超危険な弾薬庫の爆発壊滅により移転が検討され、代替地として当時過疎地だった祝園に弾薬庫が新設されることになりました。当時は東洋一の弾薬庫でした。

戦後は米軍の弾薬庫として朝鮮戦争等で使用され、1960年に自衛隊に移管され現在に至ります。

こうして、時代と場所を変えて、弾薬庫は祝園の地で拡大増強されていくことになりました。